

## World Data Center の設立と発展

## Establishment and Development of World Data Centers

# 荒木 徹 [1]

# Tohru Araki[1]

[1] 中国極地研

[1] PRIC

故福島直先生は、「IGY 資料センター設立に至る歴史的経過」(京大地磁気世界資料解析センターニュース、No.75、2002.9.20)の中で、「IGY 世界資料センターの設置箇所を具体的に選定した国際会議は、IGY 期間に入る僅か3ヶ月前でしたが、資料センターを世界数力所に設置する必要性についてはずっと早い段階から議論されていた問題です」と述べておられる。このことは、1939年9月に Washington DC で開かれた IATME(IAGA の前身)総会の勧告「海上または陸上におけるすべての磁気測量結果は2ヶ所の中央局(Danish Meteorological Institute at Copenhagen と Department of Terrestrial Magnetism of the Carnegie Institution of Washington)に送付され、研究者に対する資料提供の便宜を図る」を指している。

IGY (1957-1958)の開始に当たり、IGY 特別委員会(CSAGI)は、得られたデータの収集・保管・提供を行うため「World Data Center (WDC)」を設置することを決めた。データの地域的利用促進と壊滅的損害防止のため世界数力所に分散させ、米国とソ連に総合的センターが、ヨーロッパとアジア・オセアニアに分野別センターが作られた。米ソ欧亜に対応して